

iPS 細胞由来の新型コロナウイルス研究用細胞を提供へ 感染症・免疫系疾患の研究を加速させる細胞製品

マイキャン・テクノロジーズ株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役：宮崎和雄）は、iPS 細胞から作製したウイルス研究用細胞である【**Mylc (Myeloid lineage cell: ミルク) 細胞**】を新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の新薬・ワクチン開発促進に尽力する全世界の研究者に、2020年6月から提供いたします。当社は新型コロナウイルス肺炎（COVID-19）のパンデミックに呼応し、Mylc 細胞を用いた新型コロナウイルス研究を大学と共同で実施するなど、すでに研究開発に着手しております。Mylc 細胞の改良を行い、コロナウイルス研究用に特化した新製品を6月には世界中の研究者に提供可能となる予定です。今回は新型コロナウイルス肺炎に携わる研究者に限り、本細胞を2020年12月まで無償提供を行います（ただし、ご要望の件数によって変更する可能性があります）。

ヒトの免疫にとって不可欠でありながら希少なミエロイド系細胞（※1）は、ウイルスが体内に侵入増殖し、発症するメカニズムの理解や、薬やワクチンの効果を検証に重要な役割を果たします。以前はミエロイド系細胞の生産方法は確立されておらず、サル由来など他の細胞を用いた研究が行われていたため、ヒトでの再現性に課題が残りました。

当社は独自の再生医療技術を用い、ヒト iPS 細胞から誘導したミエロイド系細胞「Mylc 細胞」の多量で・安定的・継続的な供給が可能です。Mylc 細胞は、2019年12月の発売以来、デング熱（※2）やインフルエンザなどの感染症研究に用いられています。

当社では、Mylc に限らず、世界規模の社会課題に挑む研究者に役立てて頂ける細胞の開発を続けていきます。細胞開発事業を加速し、研究者らへの細胞提供を通じて、当社の理念、「再生医療技術を活用した血球細胞の提供を通じ、世界のあらゆる人の健康に貢献する」の実現に向け邁進してまいります。

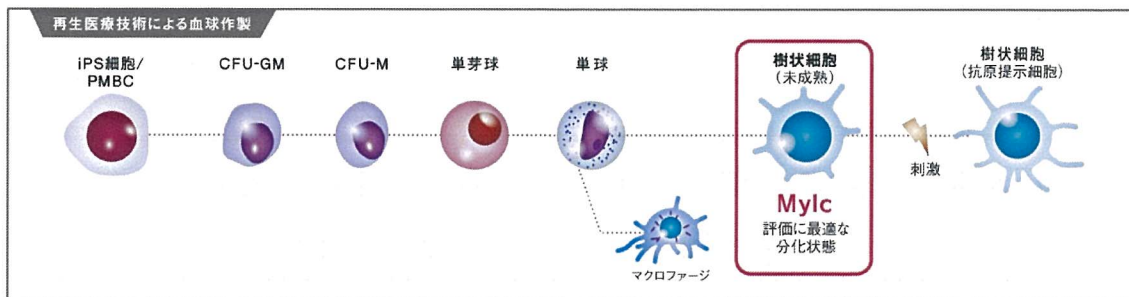
《ウイルス研究用細胞「Mylc 製品」の特徴》

■希少な未成熟ミエロイド系細胞を提供

iPS 細胞等から血球系細胞の分化を誘導し、ウイルス感染研究などに適した未成熟な状態のミエロイド系細胞を培養する技術を確認しました。iPS 細胞以外にも、ヒト末梢血単核細胞(PMBC)から誘導した細胞も提供しています。

■高い均一性・安定供給

iPS 細胞を使用することで、同じ遺伝背景を有し分化段階が均一な細胞を、安定かつ多量に提供できます。そのため、創薬・ワクチン研究開発にとって重要である高い再現性が確保できます。（次頁の赤線枠が Mylc 細胞）



■大学や研究機関のウイルス研究者に提供中

昨年 12 月の提供開始後、国内のウイルス研究者を中心に Mylc 細胞を提供しています。デングウイルス、インフルエンザを筆頭に、様々なウイルスの研究に使用して頂いております。

■iPS 細胞以外のラインナップも提供中

Mylc 細胞以外にも様々な特殊血球細胞製品を提供しています。

- ◇ Mpv (エムピーブイ) 細胞：再生医療技術を使用したヒト幼若赤血球様細胞
- ◇ その他、研究用途に合わせた特殊血球をご提供中

《無償提供の対象となる新型コロナウイルス研究》

- COVID-19 のメカニズム解明、治療の探索など非臨床の研究であること
- 大学・大学院等に在籍する研究者による研究であること
- 2020 年 8 月末までに着手予定であること
- 研究成果を論文等によって公開予定であること
- その他、当社細胞製品の取扱規約に準じること

《本件に関するお問い合わせ》

マイキャン・テクノロジーズ株式会社

〒615-8245 京都府京都市西京区御陵大原 1-36 京大桂ベンチャープラザ

担当：宮崎

【Tel】 075-381-3008 【E-mail】 info@micantechnologies.com

【URL】 <https://www.micantechnologies.com/home-2>

■用語説明

※1 ミエロイド系細胞；赤血球などの血液細胞のうち、白血球の顆粒球(好中球、好酸球、好塩基球)や樹状細胞、マクロファージを指す。骨髄系細胞ともいう。

※2 デング熱；ネッタイシマカなどの蚊によって媒介されるデングウイルスの感染症。主に熱帯地域で流行するが、過去に日本でも旅行者などにより持ち込まれたと考えられる流行が発生した。この場合、日本に生息するヒトスジシマカがウイルスを媒介する。